

そよかぜ会報

第46号

平成26年7月15日

NPO 法人メンタルサポート野田そよかぜ
理事長 齊藤 登美生
事務所 野田市目吹字北沖砂2578-4
TEL 04-7125-3955
HP: <http://www2.ocn.ne.jp/~ms-soyo/index.html>
E-mail: tsubasa@road.ocn.ne.jp

就任ご挨拶 宜しく申し上げます

理事長 齊藤 登美生

黒澤義昭前理事長に代わって6月1日に理事長に就任させていただきました、宜しくお祝い致します。

黒澤前理事長は法人設立当初から10年間にわたって運営に携わって来られ、皆様ご承知のとおり、昨年10月10日には10周年記念行事が盛大に行われたところであります。

私は、昨年5月から非常勤理事として当法人の運営に関わって参りましたが、事業内容が多岐にわたっていることと、黒澤前理事長の業績の偉大さを驚きの目をもって見て参りました。

それも、ここ2~3年で事業の拡大と発展が加速度的に行われて来ており、牽引力のある黒澤前理事長をはじめ、理事、職員、メンバーさん、ボランティア各位の一致協力による参画の賜物と、感服・感銘しているところであります。

私は、既定路線を引き継ぎ、精神に障がいを抱える人々が自立して生活できるよう、更に諸事業の発展充実を図って参る所存であります。

私の理事長就任に伴って、法人運営の人事も若干の異動を致しました。

すなわち、「つばさ」施設長に頼 教昭さんに就任させていただきました。頼 教昭さんには、「すまいる」施設長と「事務局」局長も兼任していただくことにしております。

この兼任人事は、過渡的なものでありますが、各位のご理解とご協力をお願い致します。

当面の運営のポイントは、昨年開設した「グループホーム」の充実と拡充、そして、ここ2~3年充実強化してきた職員が持てる能力を存分に発揮し、一致協力して業務に邁進して頂ける環境づくり等、になるうかと考えます。

快適な生活をし、仕事をするためには、相手のことを思いやり、多少の意見の相違やタイミングの齟齬には寛恕の心をもって対応する「和」の心が大切であります。

「和」の心をもって相手に接し、仕事を進めれば、心地よい生活が出来ますし、効率の良い業務遂行につながりますので、「和」の心をもって仕事をして頂くことをお願いしていきたくと考えます。

なお、「和」の入り口には「挨拶」があります。朝の「おはようございます」昼通路で出会った時などの「こんにちは」、帰る時の「じゃあまた」とか「さようなら」を笑顔でするような習慣は、殆どのかたがたが実行しておられますが、一部には未定着な面があるようです。更に、定着していただくよう努力していきたく、と考えます。

また、相手の立場に立って「誠」心「誠」意対応することは、各位の行っているところでありますが、今後とも「誠」の気持ち・態度で対応して頂くようお願いしていきたくと考えます。

メンバーさんが一市民として自立して生活できるよう役員、職員、ボランティア等関係各位が、各自の役割分担のもと一致協力しベクトルを合わせて業務に邁進することを念願しています。

今後とも、皆様方のご支援ご協力を賜りますようお願い致します。



定期総会開催

理事長退任のご挨拶

黒澤 義昭



平成15年8月、野田市にある二つの家族会が中心となり、精神障がいを抱える人々が自立して生活ができる地域づくりを目指してNPO法人を設立して活動を開始し、まず、17年8月、日中活動の場として小規模通所授産施設つばさを建設し現在多機能型事業所として運営するほか、地域活動支援センターすまいる、グループホームそよかぜハウス、相談支援事業所そよかぜを運営し、目標としている事業を達成しつつあります。

これは、平成13年11月、野田市障害者基本計画推進協議会において、「精神障害者福祉施策の展開方向」が示され、この中で小規模通所授産施設の建設促進が取り上げられ、野田市の強力なご支援ご指導の賜物であり、関係諸機関の御支援に負うところ大であり、深甚の御礼を申し上げます。

また、法人会員の皆様のご支援、法人業務を運営する理事会及び職員の目的達成のための一貫した運営の積み重ねであり、退任にあたり改めて御礼を申し上げます。

今後、新理事長および職員体制のもと、障がい者の生活の質の向上を目指して法人の更なる発展を記念申し上げますとともに、関係する皆様の変わらぬご支援ご指導をお願い申し上げご挨拶と致します。



黒澤前理事長

5月31日をもちまして退任され
相談役になられました。
本当に本当に長い間ご苦勞様でした。



そして、
ありがとうございました。



6月



そよかぜハウス B 開設



6月1日より、そよかぜハウス B 棟が
開所致しました。現在3名の方が
入所されそのうち2名の方がつばさに
通所されています。



世話人さんも3名の方が新しく加わり
メンバーさんの食事などを用意して
頂いています。



新施設長就任

施設長就任挨拶

頼 教昭

平成26年6月の理事会におきまして、白簾施設長の後任としてご承認を頂きました頼教昭でございます。

白簾前施設長におかれましては永年のご活躍のお蔭で充実した活動を進めることが出来ました。

今後も一層の飛躍を目指して通所メンバーそして職員との「ふれあい」と「和」の心を大切に事業を推進してまいりたいと考えます。

そして重要なのは、常に利用者の立場に立った適切かつ効果的な支援・訓練を行っていかねばならないと思います。

ここ数年でそよかぜ事業が急激に拡大してまいりました。まだまだメンバーさん、そして家族の皆様には至らぬところも多々あるのではないかと思います。総会で承認されました事業計画を基本に少しずつではありますがご期待に沿える様微力ではありますが邁進してまいりたいと思います。

着任のご挨拶

たかはし
高橋 みどり(つばさ)

5月よりつばさに入職いたしました。
高橋みどりと申します。

メンバーの皆様のご気持ちに寄り添い
力になれる職員を目指したいと思っています。
どうぞよろしくお願ひ致します。



とば けいご
鳥羽 敬俣(つばさ)

本年7月1日入職致しました鳥羽敬俣です。
どうぞ宜敷くお願ひ致します。ご多分にもれず私も
この業界は初めてです。一所懸命勉強し職員
の皆様にご迷惑をお掛けしないよう頑張ります。また、
入所者の皆様とも朝夕の送迎者そして仕事とご
一緒です。仲良くやって行きましょう。
よろしく。



7月3日(木)農園と周辺の草むしりをしました。
ムラ



たくさん収穫できてますっ！ Y子さん





あの町この町っ

No.1 野田市神輿編



8月2日に神輿パレードが15時～22時まで開催されます。

パレード以外にも各町会で神輿があがります。

各町会神輿を少し紹介します。



かみちょうあまがえる

上町雨蛙みこし



雨乞いと、厄病除けとして津久舞の行事が受け継がれていて、津久の董次郎(津久柱に登って舞う人)の扮する装束が雨蛙です。これをみこしとし製作したのが昭和7年のことでした。現在のは二代目で昭和49年に作られたものです。

ななこうだいおおすぎみこし

七光台大杉みこし

二代目の「七光台大杉みこし」は、平成20年に野田市岩名のみこし師・須田光勇氏の手で製作されました。

なかちょうしし

仲町獅子みこし

昭和8年に製作された仲町黒獅子は、老朽化で修復が不可能となり平成15年上町の野口美樹氏により新獅子みこし完成となりました



なかのだいおおすぎみこし

中野台大杉みこし

担ぎ手、周囲のギャラリーの動員数ナンバーワンのきれいなみこしです。現在のみこしは、昭和32年に市川市行徳のみこし師・後藤直光氏により製作されたもので、中根大杉みこしと血縁関係があるかもしれません。

しみずおおすぎみこし

清水大杉みこし

清水の大杉みこしは、昭和58年7月に長野県小諸市のみこし師・土屋克身氏によって製作されました。

しもちょうしし

下町獅子みこし



金色に輝く大きい獅子は、昭和10年に製作されました。目玉や鼻の大切な箇所は細密に彫刻され、つむじや耳の回りには芯をいれて固めてあります。また、獅子の毛はマニラ麻を丁寧に櫛でよくといて、膠で元を固めて植え込んでいます。

かみはなわおおすぎみこし

上花輪大杉みこし

このみこしは、大正14年野田市山崎の宮土工佐藤重次郎氏の手により誕生しました。

総樺作りの白木みこしで彫りの彫物は東京柴又の帝釈天の彫物を手掛けた石川信光氏の作台座です。

つばさ農園

のうえん かんばん さくせい
つばさ農園の看板を作成しました。

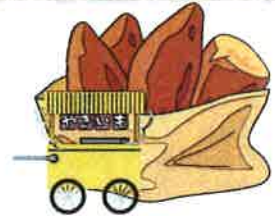


だいこんとカブを植えました



あの町この町っ

No.2 盛岡八幡宮・ふくろう祭編



池袋ふくろう祭
池袋駅前に各町会の神輿
が集まります。
駅前にて各町会ごとの
見せ場があり
観客もすごい数です
ぜひ一度遊びに行ってみ
てはいかがでしょうか

9月半ばに盛岡八幡宮例
大祭が行われ事務 W さん
は毎年担ぎにいらっている
そうです。山車も毎年違う
ものが出てとても盛大だ
そうです。



ふくろう祭 原町会



編集後記

あき
すっかり秋となりました。
あき いえば しょくよく あき どくしょ あき すぼーつ あき
秋と言えば、食 欲の秋・読書の秋・スポーツの秋

などなど

しょくよく あき あきなす
食 欲の秋・・・秋茄子・・・

こころひかれることば
とても 心 惹かれる言葉ですが

きせつ きもち てんこう
この季節は気持ちのいい天 候です。

からだ うごかして
体 を動かしてみてもいいですか？

あせ
汗をかかなくても

さんぽ あきかぜ
ゆっくり散歩をしながら秋 風を

かんじて
感じてみては